## <付録1ランダム化比較試験・チェックシート>

ポイント①:論文のPICOは?

確認点1:この研究の対象患者はどのような患者か?

## ◎参加基準: participant

55歳以上の男女で、1期または2期の高血圧を有し、さらに1つ以上のCHD発症の危険因子を有する者。危険因子は、心筋梗塞または脳卒中の6か月以上前の既往、心電図または心エコー検査による左室肥大、2型糖尿病歴、喫煙者、HDLコレステロールが35 mg/dL未満、他の動脈硬化性CVDがある。

○除外基準:exclude

入院または治療歴のある症候性心不全および/または左室駆出率が35%未満の患者。

**確認点 2 および確認点 3**:この研究における介入・比較対照(<u>assign</u>) は何か?

クロルタリドン 12.5 mg、25 mg。

確認点3:この研究における比較対照 (assign) は何か?

アムロジピン 2.5 mg、5 mg、10 mg。 リシノプリル 10 mg、20 mg、40 mg。

確認点 4:この研究の主要評価項目(primary, outcome)は何か?
致死的CHDまたは非致死的心筋梗塞の複合。
確認点 5:この研究の副次評価項目(secondary, outcome)は何か?
あらゆる原因による死亡、致死的および非致死的脳卒中、CHD
複合(主要転帰・冠動脈再灌流・入院狭心症)、CVD複合〔CHD
複合・脳卒中・他の治療を受けた狭心症・HF(致死的、入院ま
たは非入院治療)・末梢動脈疾患の複合〕。
確認点 6:この研究の安全性評価項目(safety, outcome)は何か?
血管浮腫と消化管出血による入院。
ポイント②:グループに分けは適切か?
<b>確認点1</b> :この研究対象者の割り付け方法はどれか?
(random)
☑ランダム化(コンピューターや web 登録方法を使用)
□ランダム化(詳細な記載なし)
□ランダム化でない方法 □その他( ) □不明
<b>確認点2</b> :コンピューターなどで割り付けされており、両グループで
割り付けは隠ぺい化されているか?(conceal)
✓隠ぺいされている □隠ぺいされていない □不明

確認点3:割り付けられたグループ間の研究対象者のベースラインは
均等か?(baseline, table 1)
☑均等
□均等でない(どの項目が?: ) □不明
ポイント③:盲検化や企業の関わりは?
確認点1:盲検のレベルはどこまで行われているか?
(blind)
☑二重(以上)盲検 □一重盲検  □オープンラベル(非盲検)
□盲検できない  □不明
確認点2:どのような人が盲検の対象となっているか?
□対象者(患者) □実施者(医療者) □評価者
□その他(解析者など)▼不明
確認点3:製薬企業はどのような関与をしているか?
(fund)
□ 研究のデザイン □ 研究の実施 □ 研究の解析
□研究資金の提供 ☑薬剤の提供 □なし □不明
☑ その他(NHLBIが出資)

## ポイント④:サンプルサイズは計算されているか?

確認点 1: 事前に基準を決めているか? (α, power) ☑ α レベル (α=0.0178) ☑ 検出力 (Power = 83%) □不明
確認点 2: サンプルサイズの計算方法はどれか? □必要参加人数 □必要発生イベント数 ☑不明
<b>確認点3</b> :計算されたサンプルサイズ(or必要発生イベント数)と実数はいくつか? 計算値 不明、実数 33,357人
ポイント⑤: 研究結果の解析対象者はどの範囲か?
確認点 1:解析方法は何か??(intent) ☑割り付けた人全員(ITT解析) □一度も治療を受けていない人を除外(FAS解析) □ Per Protocol Set解析(PPS解析) □不明
確認点 2: 全員が解析されていない場合 (ITT解析以外)、解析できた 割合は何%か? (figure 1) ベースラインの人数 33,357人 結果の解析人数 33,357人 (解析率 100%)

## ポイント⑥:論文の結果を確認する

<b>確認点 1</b> :Primary Outcome の表記は何か?
(ratio, table 5)
☑リスク比(Risk Ratio, Relative Risk:RR)
□ハザード比(Hazard Ratio:HR)
□オッズ比(Odds Ratio:OR)
□平均値の差(Mean Difference:MD)
□リスク差(Absolute Risk:AR)
□その他( )
<b>確認点 2</b> :Primary Outcome の結果の効果推定値は?
※介入群をクロルタリドン (C)、比較群をアムロジピン (A) およびリシノプリ
ル(L)とする。
数值(95 %CI):C vs A, O .98 (O .90 -1 .07), C vs L, O .99 (O .91 -1 .08)
p値:0.65,0.81
介入群の発生数と割合:C1362 (11.5)
対照群の発生数と割合:A 798 (11.3), L 796 (11.4)
確認点3:その結果に有意差はあるか?
□介入群が有意 □対照群が有意 ☑両群に有意差はない
確認点4:Secondary Outcomeの効果推定値は? 気になるものを書
こう。
項目①:あらゆる原因による死亡 数値 ( 95 %Cl):C vs A RR 0 .96
(0.89-1.02),CvsLRR1.00(0.94-1.08) p値:0.20,0.90
対照群の発生数と割合:A 1256 (16.8), L1314 (17.2)
□介入群が有意  □対照群が有意  ☑両群に有意差はない

項目②:心不全 数値 (95%CI): C vs A RR 1.38 (1.25-1.52), C vs L
RR 1.19 (1.07-1.31) p値:<0.001, <0.001
介入群の発生数と割合: C870 (7.7)
対照群の発生数と割合:A706 (10.2),L612 (8.7)
── ☑介入群が有意 □対照群が有意 □両群に有意差はない
確認点 5:安全性の評価の結果で気になる結果はあるか?
(safety)
血管浮腫 (入院あるいは治療): C 1567 (12.1), A 950 (12.6), L 1019
(13.6), C vs A 1.02 (0.94-1.10) p=0.67, C vs L 1.11 (1.03-1.20)
p = 0.01